



アクセシビリティを意識したプロダクトづくり

# 会社概要

会社名	freee株式会社
設立年月日	2012年7月9日
CEO	佐々木 大輔
従業員数	916人（※2022年6月末時点、連結会社の総数）
事業内容	クラウド型バックオフィスサービスの開発・販売



# 統合型クラウドERP

あらゆる業務とデータがつながることで、自動化・可視化に加えてスマートで適切な経営アクションが可能に



# Mission

## スモールビジネスを、 世界の主役に。

freeeは「スモールビジネスを、世界の主役に。」をミッションに掲げ、  
「だれもが自由に経営できる統合型経営プラットフォーム」  
の構築を目指してサービスの開発及び提供をしております。

大胆に、スピード感をもってアイデアを具現化することができる  
スモールビジネスは、様々なイノベーションを生むと同時に、  
大企業を刺激して世の中全体に新たなムーブメントを起こすことが  
できる存在だと考えております。



# なぜfreeeはアクセシビリティに取り組むのか

freeeのビジョン

**だれもが**自由に経営できる  
統合型経営プラットフォーム。

統合型経営プラットフォームはみんなで使うもの。  
だれもが**自由に自然体**で使えるプロダクトを作っていきたい。



# freeeでのアクセシビリティの取り組み

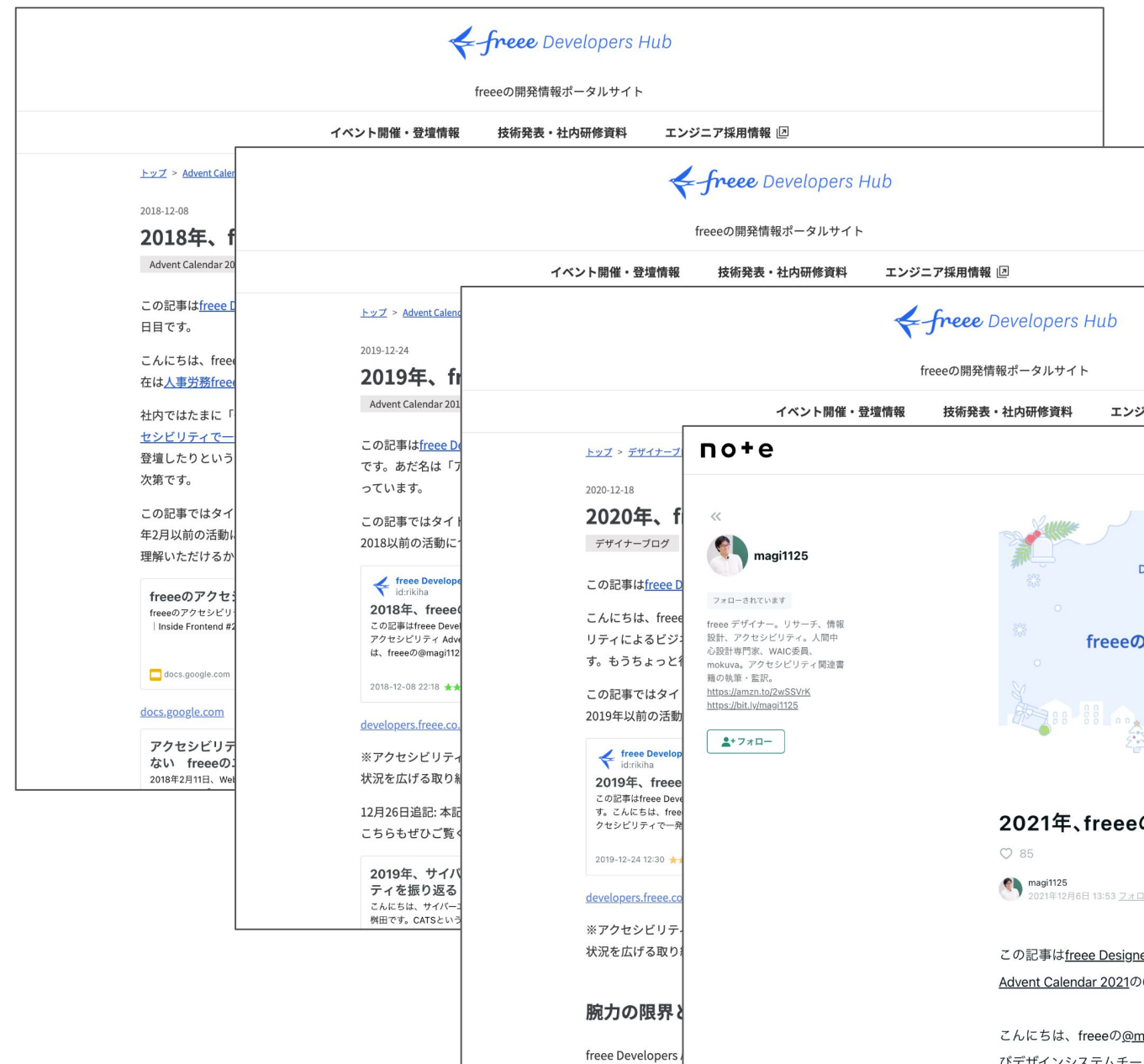
- 2017年ごろからアクセシビリティへの取り組みを開始
- 2020年に「freeeアクセシビリティ・ガイドライン」を策定・公開
  - WCAG 2.1をもとに使いやすいガイドラインやチェックリストを整備
  - 製品開発プロセスで早い段階からアクセシビリティに取り組める体制の構築
  - 現在、すべての新規開発でアクセシビリティチェックを必須としている
- 2021年より、全職種むけにアクセシビリティ研修の実施
  - 入社直後にすべての雇用形態のメンバーに研修を実施
  - 必要なメンバーにはより専門的な内容の研修を実施している



# freeeのアクセシビリティのこれまでの歩み

毎年、freee社内のアクセシビリティの取り組みの振り返り記事を公開しています

最新版は <https://note.com/magi1125/n/n50e160bb0b41>



# ガイドラインとチェックリスト

難解なWCAGを整理して、現場で使いやすいガイドラインやチェックリストを策定

<https://a11y-guidelines.freee.co.jp/>

freee アクセシビリティ・ガイドライン » freee アクセシビリティ・ガイドライン

## freee アクセシビリティ・ガイドライン

このガイドラインは、参考情報の追加や表現の改善などで、随時更新されます。

バージョン:  
Ver. 202302.0

更新日:  
2023年2月20日

- はじめに
  - freee アクセシビリティ・ガイドラインについて
  - freee アクセシビリティ・ガイドラインの活用方法
  - この文書の編集について
  - 更新履歴
- ガイドライン
  - マークアップと実装
  - ページ全体
  - ログイン・セッション
  - 入力デバイス
  - テキスト
  - 画像化されたテキスト
  - 画像
  - アイコン
  - リンク
  - フォーム
  - 動的コンテンツ
  - 音声・映像コンテンツ

ID	チェック結果	チェック結果に関する補足	チェック内容	重篤度
0021			テキストの表示色と背景色には、十分なコントラスト比が確保されている。	[NORMAL]
0051			テキストの表示色と背景色には、十分なコントラスト比が確保されている。 * 文字サイズが30px (22pt) 以上の場合：3:1以上 ([SHOULD] 4.5:1以上) * 文字サイズが22px (18pt) 以上で太字の場合：3:1以上 ([SHOULD] 4.5:1以上) * その他の場合：4.5:1以上 ([SHOULD] 7:1以上)	[MAJOR]
0081			リンクやボタンなど、マウス・クリックを受け付けるオブジェクトは、以下の操作を行っても実行されない。 1. マウス・ポインタをオブジェクト上に移動 2. マウス・ボタンを押下 3. マウス・ボタンを押下したままの状態でもオブジェクト外にマウス・ポインタを移動 4. マウス・ボタンを放す 注：ドラッグ&ドロップのためのオブジェクトはこのチェックの対象外	[NORMAL]
0111			ホバーで表示されるすべてのコンテンツは、以下のすべてを満たしている： * ポインタを移動させることなく、ホバーで表示されたコンテンツを非表示にできる。(ESCキーで消える、など) * ホバー状態ではなくなった場合、ユーザーが非表示にする操作を行った場合、内容が無効になった場合にのみ、ホバーで表示されたコンテンツを非表示にする。	[NORMAL]
0112			ホバーで表示されるすべてのコンテンツは、ポインタをそのコンテンツ上に移動しても、コンテンツが消えない。	[MAJOR]
0141			ショートカットキーを提供していて、それが画面のどこにフォーカスが移っても作動する仕様である。	[NORMAL]



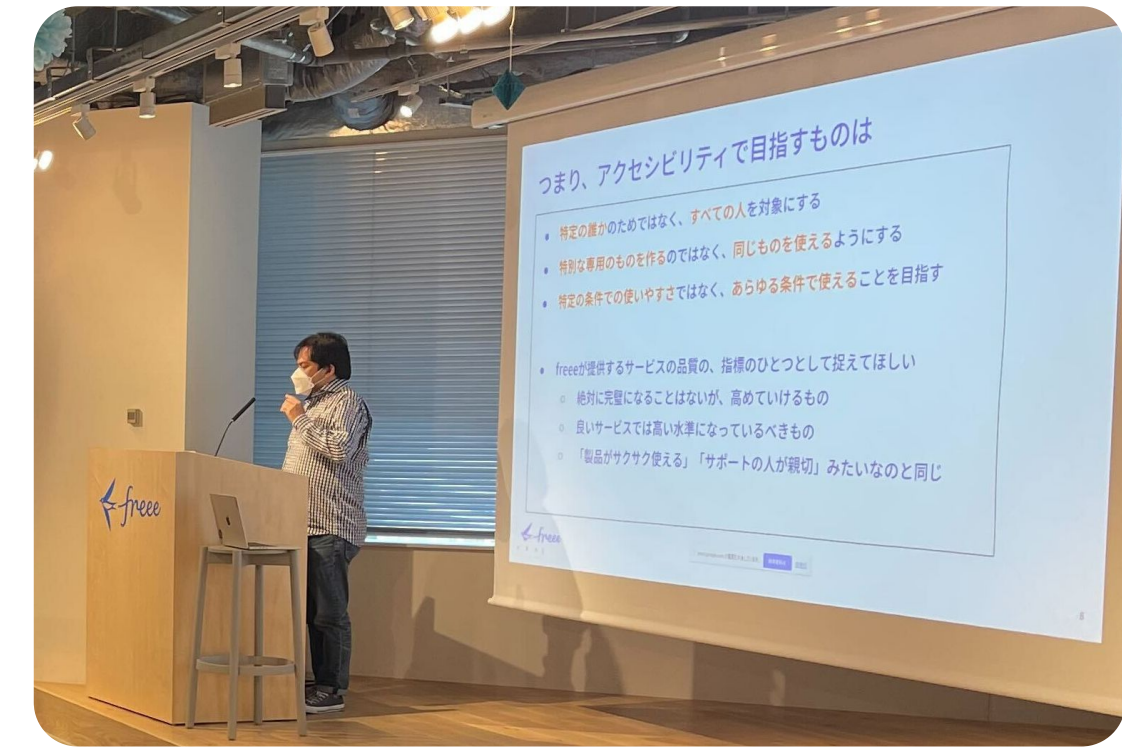
# 3段階のチェックリスト

「デザイン」「コード」「プロダクト」のチェックリストを用意  
デザイナーやエンジニアは作りながらチェックして、QA（品質保証）チームが最終チェックする  
早い段階からチェックを行うことで、小さい手戻りで修正できるようにする



# 全メンバー向け研修の実施

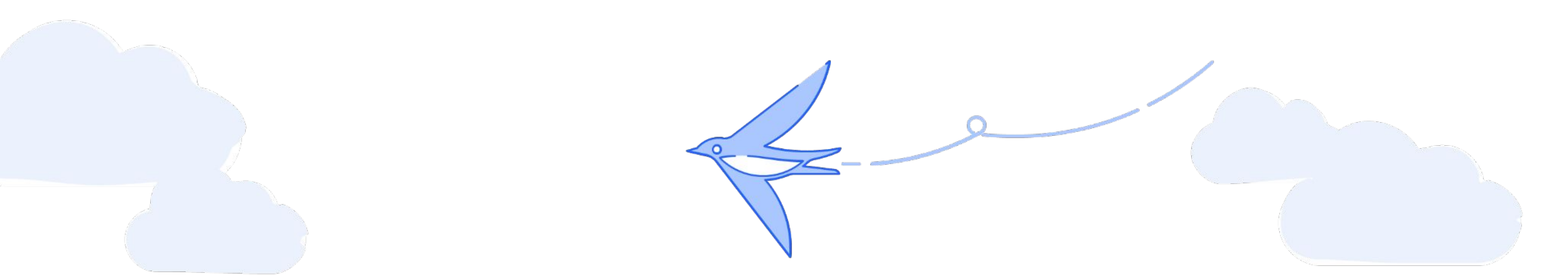
- 全職種の全メンバー向けに1時間のアクセシビリティ研修を実施
  - アクセシビリティという考え方、障害や支援技術の紹介
  - スクリーンリーダーのデモ
  - 社内での活動で考えてほしいことの紹介
- 開発職やWebマーケティング等に関わるビジネス職向けには、より具体的な内容の研修を実施
  - キーボード操作やスクリーンリーダーの体験
  - アクセシビリティチェックや改善方法の探り方
  - ボタンやフォームなど、製品の具体的な部分の良い例・悪い例
- 動画を公開しています <https://developers.freee.co.jp/entry/a11y-training>



# アクセシビリティの取り組みの課題

- 創業期に開発した機能や製品ではアクセシビリティの考慮が不足
  - 企業が果たすべき社会的な責任として、一般的に認知される必要
  - アクセシビリティの高い製品がより高く評価される社会になってほしい
- アクセシビリティに関する知識や経験をもった人材の不足
  - 専門的スキルとしての認知や教育機会の充実
  - アクセシビリティのスキルをもつことが採用市場で価値となるようにしたい
- 障害者雇用や人材確保などに絡めたアクセシビリティへの動機づけ





スモールビジネスを、世界の主役に。

